

令和7年11月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年11月分について、輸出額は「自動車の部分品」「自動車」などが減少したものの、「金属加工機械」「金属鉱及びくず」「非金属鉱物製品」などが増加したことから、対前年同月比1.2%の増加となった。また、輸入額は「原粗油」などが減少したものの、「金属鉱及びくず」「石油製品」などが増加したことから、同1.8%の増加となった。その結果、差引額は7,762億円（同0.7%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降174カ月（14年6カ月）連続 全国港別（空港含む）第1位

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

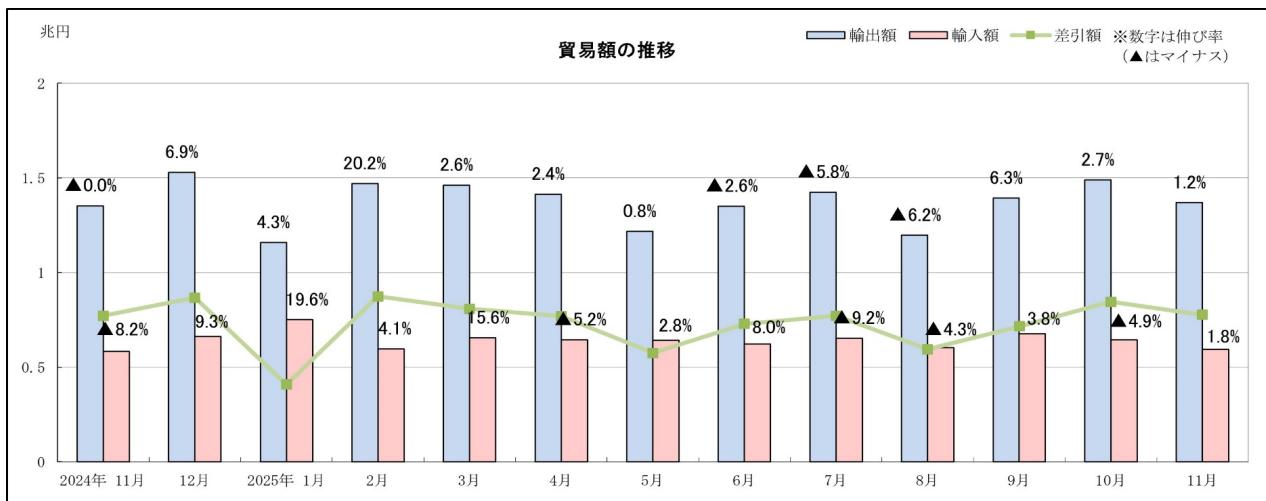
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆3,691億円	+1.2%	5,929億円	+1.8%	7,762億円	+0.7%
	3カ月連続の増加			2カ月ぶりの増加		
	順位 過去 16位	11月として 1位	順位 過去 34位	11月として 3位	順位 過去 11位	11月として 1位
管 内（名港シェア）	2兆2,063億円 (62.1%)		1兆1,181億円 (53.0%)		1兆0,882億円 (—)	
全 国（名港シェア）	9兆7,147億円 (14.1%)		9兆3,924億円 (6.3%)		3,222億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	(1) 金属加工機械	454億円	+29.8%	+0.8	3カ月連続の増加
	(2) 金属鉱及びくず	★ 111億円	+90.2%	+0.4	6カ月連続の増加
	(3) 非金属鉱物製品	185億円	+38.3%	+0.4	3カ月連続の増加
減少	(1) 自動車の部分品	1,445億円	▲12.0%	▲1.5	9カ月連続の減少
	(2) 自動車	4,393億円	▲3.5%	▲1.2	3カ月ぶりの減少
輸入	(1) 金属鉱及びくず	154億円	+33.6%	+0.7	4カ月連続の増加
	(2) 石油製品	135億円	+33.5%	+0.6	3カ月連続の増加
	(1) 原粗油	—	全減	▲1.8	5カ月連続の減少



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。